

認定  大学院発 文部科学省 職業実践力育成プログラム

厚生労働大臣指定 専門実践教育訓練給付金対象講座

関西学院大学ビジネススクール(MBA)に連動したプログラム

第6期 インバウンド需要に対応した
MICE・地方観光人材育成プログラム

2024年
10月開講

インバウンド需要に対応した
持続可能な地域振興を目指す
新たなサービス経営人材の育成



持続可能な地域振興を目指した次世代MICE・観光人材を育成します。

日本のサービス産業が生み出す付加価値生産はGDPの7割を占めており、その割合は年々高くなっています。とりわけ、近年ではインバウンド顧客による消費の増大が、サービス産業を牽引する状況になっており、地域観光を核にした地域振興が重要になっております。そうしたなか、関西学院大学では、2015年よりサービス経営人材の育成に取り組んでいます。平成29年度に本プログラムが文部科学省高度専門職業人養成機能強化促進委託事業に採択され、MICE・観光人材の育成のためのカリキュラム開発に着手し、2019年10月に第1期を開講しました。そしてコロナ禍の苦難を乗り越えて、本プログラムは、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科のビジネススクールが提供する履修証明プログラムの1つとして、2024年10月に第6期を開講します。



開講にあたって

皆さんが将来の観光業を考える際に、その発展に大きな期待を持っている方も多いでしょう。グローバルで自由な移動、また安価で安全な移動が保証されたことで、世界規模で移動や宿泊に関する需要は増え続け、日本ではインバウンド顧客への期待が高まっています。残念ながら2020年以降、コロナウイルスの感染拡大で3年にわたり、人々の行動には制限が掛かりました。この困難を乗り越えて、我が国では2023年5月以降、コロナウイルスの扱いが変更になり、2024年のインバウンド顧客も3000万人を超えることが想定されています。この数字は来年開催される関西万博を考えるとより大きなものとなるでしょう。一方で、この経験を元にして我が国の観光業全般に大きな改革が必要であることも確かです。本プログラムは、MICEを含めた幅広い集客手法を駆使して生産性を高め、成長性のある観光地を作っていく人材を育成していきます。観光とサービスに関する基本的な知識から実践的な知識まで、観光産業の経営に役立つ幅広い知識の習得が可能なプログラムとなっています。また、一部科目はビジネススクールの科目と連動しており、修得した単位はビジネススクール入学後に修了に必要な単位に算入されます。さらなる学びを求める方には魅力的な仕組みとなっています。このプログラムに参加し、是非新たな学びにチャレンジしてみてください。

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授 山本 昭二



新しい学びの機会

宿泊業は人が移動し、人が集まることで価値を生み出し、産業としての規模も増大してきました。宿泊、料飲、宴会などに代表される商品はどれを取ってもこの条件によって成り立っています。余暇の増大やグローバル化は、こうした条件を拡大し、宿泊業も規模を拡大してきています。コロナウイルスの感染拡大は、宿泊業に大きな打撃を与えましたが、私たちが変わっていく大きな機会も与えてくれたと思います。このプログラムではより生産性の高い、質の高い従業員を必要とする宿泊業にとって、経営上必要な知識を提供してくれています。是非、プログラムに参加をして次世代の観光業の担い手となって貰えればと思います。

株式会社神戸ポートピアホテル 代表取締役社長 中内 仁

MICE・地方観光人材育成プログラム実行委員会

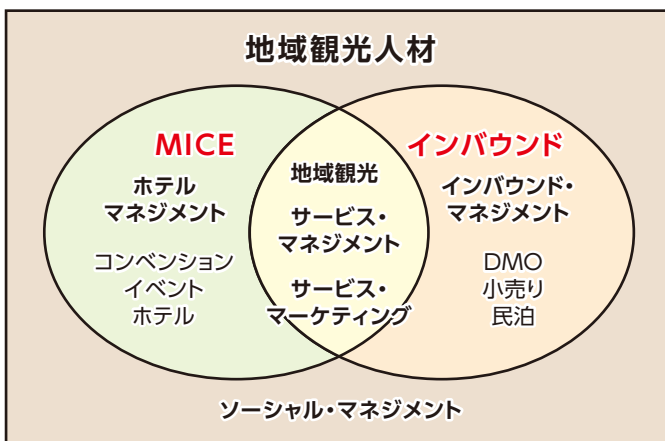
本プログラムでは、関西学院大学ビジネススクールが提供する経営マネジメント理論と産官学連携のプログラム実行委員会のもと、ホスピタリティ産業界のMICE・インバウンド人材の育成に役立つカリキュラムを開発し、提供いたします。

<https://iba.kwansei.ac.jp/mice/consortium/committee/>



プログラム実行委員 ↑

本プログラムが目指す人材育成の領域



本プログラムは、サービス・マーケティング、サービス・マネジメントなどの専門的な科目群を基礎にしながら、地域観光に役立つ人材の育成を目指しています。特に、コンベンション型のホテルの運営を通してMICEに精通した人材を、インバウンド顧客に特化したホテルの運営や小売りの事例などを基にして、実践的なインバウンド・マネジメントに対応する人材を育成します。将来の地域観光を担うマネジメント層の育成を目指したカリキュラムになっています。

- (1) 「ホテルマネジメント」
- (2) 「インバウンド・マネジメント」
- (3) 「サービス・マネジメント」
- (4) 「地域観光」

の各科目が本プログラムで開発しましたオリジナルの科目となります。

プログラム構成

サービス経営人材に求められる基本スキルとMICEや地域観光に関する知識の習得を目指し、地域の活性化やデスティネーション・マネジメント(観光資源の有効活用を促進するための手法)を体得いただくために、本プログラムは、基礎科目と発展科目、先端科目の3つの科目群からなり、全13科目で構成しています。

	科目名	授業時間数
基礎科目	マーケティング1,2	各 12時間
	経営戦略1,2	
	会計・財務諸表	
	人的資源とキャリア開発	
発展科目	サービス・マーケティング	各 23時間20分
	サービス・マネジメント※	
	ソーシャル・マネジメント	
	組織管理	
	管理会計	
	情報システム	
先端科目	ホテルマネジメント※	各 23時間20分
	地域観光※	
	インバウンド・マネジメント※	

注1 ※は選択必修科目です。詳しくは「受講にあたって」をご参照ください。

注2 発展科目の履修は、1科目2単位の修得となります。

【基礎科目】

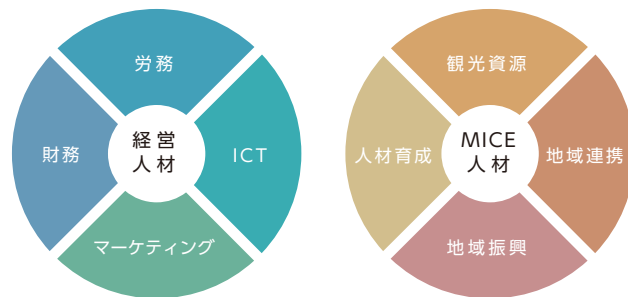
経営管理の視点に立ちながら日々の業務を行う上で最低限必要なベーシックな内容を習得できるように構成しています。本学経営戦略講座の受講者や他の履修証明プログラムの受講者等と一緒に受講いただきます。

【発展科目】

本学経営戦略研究科のビジネススクールの正規科目であり、正規の学生と一緒に受講していただきます。

【先端科目】

「ホテル・観光に特化した事例研究」をとりあげ、より実践性の高い授業を実施します。受講者は、MICE・地方観光人材育成プログラムの受講者のみです。



基礎科目は、原則として3時間(1講時90分の授業を2講時連続)の授業を4回(各12時間)実施します。

発展科目・先端科目は、原則として3時間20分(1講時100分の授業を2講時連続)の授業を7回(各23時間20分)実施します。

各科目の紹介と授業内容

全13科目の授業概要およびシラバス(授業内容)についてはホームページの「受講科目紹介」をご覧ください。

<https://iba.kwansei.ac.jp/mice/requirements/curriculum/>



受講科目紹介 ↑

講師陣と担当科目

〈順不同・敬称略〉

山本 昭二	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授	マーケティング1,2、サービス・マーケティング
谷村 真理	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授	会計・財務諸表
吉村 典久	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授	経営戦略1,2
丸橋 弘明	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 非常勤講師	情報システム
車田 絵里子	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 非常勤講師	人的資源とキャリア開発
森藤 ちひろ	関西学院大学 人間福祉学部社会起業学科 教授	ソーシャル・マネジメント
若林 直樹	京都大学経営管理大学院 教授	組織管理
国枝 よしみ	大阪成蹊大学 副学長 国際観光学部長 教授	地域観光
松田 充史	大阪成蹊大学 国際観光学部国際観光学科長 教授	インバウンド・マネジメント
田中 祥司	摂南大学 経営学部 経営学科 准教授	地域観光
酒井 大策	大阪経済大学 国際共創学部 国際共創学科 准教授	管理会計
嶋田 敏	立命館大学 食マネジメント学部 准教授	サービス・マネジメント
境田 司	株式会社神戸ポートピアホテル 執行役員 副総支配人 事業本部長 兼 開発室長	ホテルマネジメント
西尾 智子	株式会社神戸ポートピアホテル 執行役員 営業本部長補佐 兼 MICE統括	ホテルマネジメント
松田 健	日本コンベンションサービス株式会社 執行役員	ホテルマネジメント

※所属・役職は、2024年7月1日現在。講師は変更になる場合がありますので、最新の講師陣はホームページをご覧ください。

本プログラムの特徴と受講のメリット

1. ケーススタディを用いた実践的マネジメントが学べる授業

座学だけでなく、各プログラムの随所にコンベンションホテルとしてのMICEへの取り組みやDMOの取り組みといった、リアルケーススタディを取り入れた、実用性の高いカリキュラムを提供します。

2. 経営の基礎からMICE・地方観光マネジメントまで13科目で構成(選択受講)

本プログラムは、「基礎科目」「発展科目」「先端科目」に大別され全13科目で構成。そのなかから受講科目を選択できます。多様化する受講者ニーズに対応できるように条件付きで1科目からの受講も可能です。

3. 第6期より厚生労働省 専門実践教育訓練給付制度を活用した受講が可能

本プログラムは、令和6年度厚生労働省専門実践教育訓練給付金の対象講座に指定されましたので、履修証明書取得コースを選択し、所定の条件を満たしますと、受講料が大幅に軽減されます。

4. オンライン授業とハイフレックス型授業は、Zoom授業動画を提供

授業形態はオンライン授業またはハイフレックス型授業(大阪梅田キャンパスでの対面&Zoomによるオンラインの同時進行)が中心ですので、在宅での受講も可能です。オンライン授業とハイフレックス型の科目は、授業終了後、科目受講者全員に録画を提供します。欠席された場合でも授業の内容を確認できます。

5. ビジネススクールと連動したカリキュラム

将来、MBA取得を目指して本学ビジネススクールへ進学する場合は、本プログラムの発展科目で受講・修得した科目は、入学後にMBA取得に必要な単位に算入されます。(1科目につき2単位)

受講にあたって

「履修証明書取得コース」と「非履修証明書取得コース」の2つのコースから選択ができます。厚生労働省専門実践教育訓練給付制度を活用する場合は、履修証明書取得コースの受講が条件となります。

■履修証明書取得コース(MICE・地方観光マネジメントを体系的に学びたい方 向け)

MICE・地方観光マネジメントを体系的に学びたい方には、履修証明書取得コースの受講をお勧めします。本プログラムは、文部科学省「職業実践力育成プログラム」に認定されています。要件を満たした場合は本学より履修証明書を発行いたします。

【履修証明書取得のメリット】

履歴書、経歴書等に「関西学院大学 MICE・地方観光人材育成プログラム履修証明プログラム修了」として記載できます。

【履修証明書取得の履修条件】

次の(1)(2)の両方の条件を満たすことが必要になります。

(1) 本プログラム所定の課程の総授業時間数が129時間以上であること

(2) 基礎科目と発展科目・先端科目をバランスよく履修いただくために

・基礎科目は、4科目のなかから2科目以上を履修

・発展科目・先端科目の9科目のなかから5科目以上履修で、なおかつ選択必修科目である「サービス・マネジメント」「ホテルマネジメント」「地域観光」「インバウンド・マネジメント」のうち2科目以上を履修。ただし、発展科目の受講は各学期(春学期開講・秋学期開講)につき3科目までです。

厚生労働省教育訓練給付制度を活用した受講について

本プログラムは、厚生労働大臣より専門実践教育訓練講座として指定されています。履修証明書取得コースを受講される受講生のうち一定の条件を満たす場合は、教育訓練給付制度(専門実践教育訓練給付)により支払った教育訓練経費の最大70%相当(受講中50%、修了後20%)が支給されます。

【本制度を活用した受講条件】

上記の履修証明書取得コースの履修条件を2026年3月末までに修了すること。

■非履修証明書取得コース(必要な知識を学びたいと考える方 向け)

本コースでは、選択必修科目である「サービス・マネジメント」「ホテルマネジメント」「地域観光」「インバウンド・マネジメント」のうち最低1科目を履修していただきますが、その他は自由に科目を組み合わせることで受講することができます。受講目的やニーズに合わせて効率よく学びたい方にお勧めです。本プログラム入学後、履修科目を増やして修得単位数が履修証明書取得に必要な単位数に達しますと履修証明書を発行します。

受講者は、ホテル、旅行代理店、観光協会、百貨店、電気通信業、貿易会社、IT・情報サービス業、ウェブサービス業、建設・不動産業、シンクタンク、士業、教育機関、金融機関、起業家等、多岐にわたっています。



キャセイパシフィック航空会社
日本支社 カスタマーセールスセンター部長 吉田 忍 (50歳代・女性)

香港に本社を置く航空会社に勤務しています。主にアウトバウンドの販売に携わっていましたが自分自身の住む日本経済の成長を望むにはインバウンドの重要性を痛感していました。その中で本プログラムの存在を知りました。プログラムの中ではインバウンド観光関連の講義はもちろんのこと、経営、マーケティング、会計などの基礎科目を学べることも魅力でした。東京在住ですが、ほとんどの講義がオンラインで受講できるのも受講を決めた理由の一つです。講義は一方的ではなく双方で進められます。自分自身の考えを述べたり他受講生の考えを聞いたり、と刺激的で楽しんでいます。先端科目においては現場にいらっしゃる方が講師であったりゲストスピーカーであったり、と具体的に実践的な話を聴けるのも有益に感じています。



ANAインターコンチネンタルホテル東京
宿泊部ベルサービス、アシスタントチーフ 汪 思沛 (30歳代・男性)

MICE地方観光人材育成プログラムを受講したきっかけは、元々大学時代のときは観光学科だったが、マネジメントに関する知識や経験などあまり身につけていなかった。現職の仕事もホテルで7年間勤めている。将来、ホテルの管理職になれば、経営能力を身に付けるのは非常に重要だと考えている。MICEはホテル概論や観光概論などが学べる授業であるが、もちろん観光科目のみならず、経営管理科目も含んでいる。例えば、マーケティング、組織管理などの理論的内容が中心に構成されているコースである。レポートはほぼ毎週提出が必要なので、やや大変そうな感じがするが、毎回プレゼンテーションを発表した際に、先生と生徒たちと意見交換をし、他の業種の方より貴重な意見は頂くのは私にとって非常に大切な宝物である。もちろんこれは私がMICEコースを受講した理由の一つである。



旅行代理店
支店アシスタントマネージャー (50歳代・男性)

仕事は旅行業をしておりますが地域観光等については専門的に携わったことが無く今回は良い機会だと思い受講させていただきました。現在、観光業は大きな変革を求められています。そしてコロナ禍は時間を大きく進ませました。今、「インバウンド・マネジメント」の講義を受けさせていただいております。東北地方在住の私としては関西の方々と席を並べていただき授業を受けるのは新鮮な気持ちになるのと同時に観光のとらえ方の違いも実感させられました。インバウンドも東北地方はまだまだだと思われされました。言い換えればこれからだと捕らえることもできます。私は旅行会社に勤務している傍ら農業もしております。先日の講義にあったように東北地方の農村部はあと30年もすれば誰もいなくなり消滅の危機です。農村部復興の一つの手段として観光業があると思いますので今回のプログラムを学ぶことにより自分自身のスキルを上げ、観光業から地域を盛り上げるお手伝いを出来ればと考えております。



民間シンクタンク
客員研究員 キャリアコンサルタント (50歳代・女性)

私は、現在エアラインやホスピタリティに関する講義を担当しています。ここ数年、航空業界もコロナにより大きな影響を受け、非接触、DX化が急速に進み、本来のサービスに対する考え方やホスピタリティの在り方を考えさせられる様になりました。その様な時、こちらのプログラムを知り観光業界をアカデミックな視点から考え、現状や他業界の実務事例を学ぶ事で、今後顧客が求めるサービスのヒントを掴みたいと思い受講しました。実際「サービス・マネジメント」では、工学的なアプローチでサービスを理論的に捉え、DX化が広がる中での「標準化と個人化」という考え方は、サービス提供において新たな視点を頂く事ができました。今後残りの先端科目やマーケティング等の受講を通じ、多くの学びを得る機会にしたいと思っています。



一般社団法人旭市観光物産協会
旭市移住サポートセンター担当 地域おこし協力隊 長江 純一 (40歳代・男性)

私は、地域おこし協力隊として千葉県旭市のある「旭市観光物産協会」で「旭市移住サポートセンター」の担当として勤務しています。移住促進の為に地域活性化は必須であり、その知識を得る為に「地域観光人材」や「MICE」などをテーマにした本講座に興味を持ち受講することを決めました。プログラムの中では、マーケティング、地域観光などの様々な講義があることも魅力でした。受講している中で刺激になったのは、様々な分野で活躍されている受講者がいらしたことです。課題発表の際にこれまでの自分では気が付かなかった視点での考えに毎回刺激を受けました。また授業も実務事例を分かりやすく解説して頂き、アカデミックな視点からの考えを学ぶことができました。今後は授業の中で知り得た知識を実践で活かしていきたいと思っています。



データサイエンス・IT系企業 (東証上場)
経営企画部マネージャー (40歳代・男性)

私は、経営企画部責任者として、IR・広報や経営計画の策定、予実管理、M&A、新規事業開発等を担当しています。インバウンドビジネスや地域観光に関する幅広い教養を身に付けることができ、何より社会人としては学びやすい授業設計でプロのビジネスパーソンによる実践型授業など高度な知識を身につけられる強力なバックアップ体制が整っており受講を決めました。「オーバーツーリズム」問題を解消するためにも、観光客の行動パターンをリアルタイムに解析し、メディア等で混雑する状況を「見える化」にすることで観光客の分散を図ることが可能と考えます。これらを事業化にして、観光問題の解消に資するべく、インバウンド・マネジメントや地域観光に関する学問の基礎理論やそのフレームワークを本プログラムで学びたいと思います。



食の情報サイト等の運営企業
食と観光企画部企画営業 兼 地域活性化起業人 (40歳代・女性)

食の企画営業業務と並行して、総務省の地域活性化起業人制度により、ある自治体で活性化に向けた活動をしています。食に関しては飲食店・シェフ・料理・食材など長年携わったノウハウがありますが、反面、観光に関しては知識・経験が乏しく、何か学べる機会はないかと模索していました。たまたま目にした広告でこのプログラムを知り、迷わずすぐに申し込みました。どの講義も先生方はその道の専門家で、ご自身の実務経験に基づいた内容を惜しみなく提供してください。また、講義内でのディスカッションやプレゼンテーションでクラスメイトと様々な意見交換ができる事も刺激となりました。自分の仕事に必要であった観光の知識を身につける事ができたので、得た知識を発想力・想像力へ転換しつつ、形にしていきたいと思います。



office TORAFUSU
代表 島村 良子 (40歳代・女性)

現在、和歌山でマーケティング関連事業を行っています。以前は他県で自動車メーカーに勤務していましたが、和歌山へ移住しました。地域に貢献できる事を見つけない！経営も学びたい！そう思い、本プログラムの受講を決めました。MICE・地方観光を学ぶ先端科目は、最前線で活躍されている方が講師となり、専門的・実践的で密度の濃い内容を学ぶ事ができました。また、経営の基礎を学べる科目やIBAの方と共に受講できる発展科目も選択し、幅広く受講しています。正直、課題が大変な時もあります。しかし、受講生との議論などを通じそれを上回る刺激を受け、率直に「楽しい！」です。観光関連のお仕事に従事されている方はもちろん、地域へ貢献したいとお考えの方にも、素晴らしい学びが得られるプログラムだと思います。

開講日程

科目		開講日時 (2024年10月～2025年3月)			補講
基礎科目	マーケティング2	木曜	18:30～21:30	10/17、10/24、10/31、11/7	
	経営戦略2	日曜	9:30～16:30	11/3、11/17	
	人的資源とキャリア開発	土曜	9:30～12:30	11/23、11/30、12/7、12/14	
	マーケティング1	2025年6月 開講予定			
	経営戦略1	2025年7月 開講予定			
	会計・財務諸表	2025年8月 開講予定			
発展科目	ソーシャル・マネジメント	2025年4月 開講予定			2025年2月頃に決定
	管理会計	2025年4月 開講予定			
	情報システム	2025年4月 開講予定			
	サービス・マーケティング	2025年10月 開講予定			
	組織管理	2025年10月 開講予定			
	サービス・マネジメント	2025年12月 開講予定			
先端科目	ホテルマネジメント	木曜	18:30～21:50	2025年2/6、2/13、2/20、2/27、3/6、3/13、3/20	3/27
	インバウンド・マネジメント	2025年度 開講予定			
	地域観光				

※上表で「開講予定」となっている科目の開講はあくまで予定です。開講月が変更になる可能性もあります。詳細は決まり次第ホームページでお知らせします。

※「マーケティング」「経営戦略」は年2回開講しますので、「マーケティング2」「経営戦略2」で都合がつかない方は2025年度開講の「マーケティング1」「経営戦略1」を受講できます。

出願について

- 開講期間 2024年10月～2026年3月 修了(18か月) 最大21か月 2026年6月修了
- 受講者定員 15名程度
- 受講方法 出願後、面接選考を経て受講者を決定します。詳しくはホームページの募集要項をご覧ください。
- 出願資格
 - ・学士の学位を有する方もしくは同等の学力を有する方で実務経験が3年以上の方
 - ・専修・専門学校、短期大学卒業者で実務経験が5年以上の方
 - ・高等学校卒業者で実務経験が7年以上の方
 上記のいずれかに該当する方。但し、実務経験については業界・業種・職種を問いません。
- 受講料 履修証明書取得コース 444,000円～(専門実践教育訓練給付制度により最大受講料の70%支給あり)
非履修証明書取得コース 80,000円～

開講場所(対面授業の場合)

関西学院大学 大阪梅田キャンパス

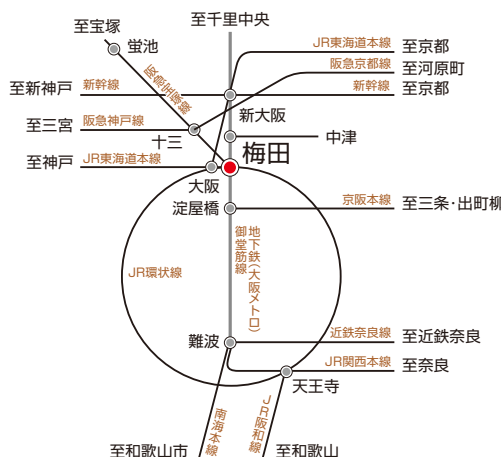
〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー10階・14階

大阪梅田キャンパス事務室(14階) TEL:06-6485-5611 FAX:06-6485-5612

- 阪急「大阪梅田」駅茶屋町口から徒歩5分
- JR「大阪」駅御堂筋出口から徒歩10分
- 地下鉄(大阪メトロ)御堂筋線「梅田」駅から徒歩7分、「中津」駅から徒歩4分

【最寄り施設】

ホテル阪急インターナショナル
梅田芸術劇場
(いずれもアプローチタワー内施設)



お問い合わせ

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 MICE・地方観光人材育成プログラム事務局

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL:0798-54-6342

E-mail: tourism_mice@kwansei.ac.jp URL: https://iba.kwansei.ac.jp/mice/



プログラムHP ↑ お問い合わせ ↑